

# 1. 高齢者の周術期管理

## 2. 新しい教育システム



新山 幸俊

Yukitoshi Niiyama

教授

博士（医学）

医学系研究科 医学専攻 病態制御医学系 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座

### 研究キーワード

術後せん妄、フレイル、Dx（デジタルトランスフォーメーション）

### 研究概要

- 高齢者における手術のエンドポイントとして術後せん妄に代表される認知機能障害が注目されている。
- これまでに報告された高齢者の認知機能を維持できる介入を集約したプロトコルに準じた周術期管理を行うことで、術後のアウトカムを改善することを目指す。
- 充実した医学教育は重要だが、医療従事者は日々の臨床の負担が大きく、教育に対して十分なエフォートを割くことができていない。
- Dx を用いて教育効果が高く、かつ教育者の負担を軽減する以下のようなシステムを開発する。



- ① 視線解析を用いて熟練医師の思考を可視化し、教育に繋げる。
- ② VR（ヴァーチャルリアリティ）を用い、学びを共有したりできるソフトを開発する。

### 予想される応用例

高齢化の進んでいる秋田県から高齢者の周術期管理プロトコルを世界に発信する。世界的なスタンダードになる可能性がある。

### 産業界へのアピールポイント

医学教育の新たなプラットフォームを確立する。